

## 令和3年度 学修行動や満足度等に関する間接評価調査（学生 IR 調査）

実施日	歯科衛生学科 1年次	令和3年11月4日		
	歯科衛生学科 2年次	令和3年11月4日		
	歯科衛生学科 3年次	令和3年11月18日		
調査人数	歯科衛生学科 1年次	56/57名		
	歯科衛生学科 2年次	42/44名		
	歯科衛生学科 3年次	57/57名	合計	155/158名

### 1. 全体概要

#### 1) 令和3年度の講義状況について

令和3年度の前期5/12～7/11と後期開始～9/30まで、講義はすべて遠隔（ZOOM）で行い、3年次の臨床実習は通常通りに行われた。1，2年次の対面授業は80分で9：30講義開始となっており、3年次の対面授業は90分で9：00開始の従来通りでおこなった。

コロナ禍による公欠者の対応は、遠隔（ZOOM）授業（ライブ中継）のハイブリッド形式での受講とした。

#### 2) 調査の全体概要

本学の特徴としては、歯科衛生士養成校としての側面が強く表れている。専門的知識や技術の修得が学生の学習の目的であり、教育内容の満足度につながっていることが特徴である。例年、設備や学生支援制度の満足度は低かった。しかし、今回の調査では満足度は高いというわけではないが、不満も少ない。設備面での改善が少しずつ評価されていると示唆される。

### 2. 調査結果の概要

#### I. 現在の学生生活について

本学の学生は、全体の67%（104名）が福岡県出身である。「質問[6]大学生生活の目的」では「学歴や資格を得る」が最も多く、次いで「専門的な研究や知識を身につける」、「希望する職業に就く」で、歯科衛生士の免許取得が大きな目的になっている。

#### II. 大学の学習状況について

##### 1) 大学の授業の内容や特徴

「質問[8] 仕事に役立つ知識やスキルを学ぶ」、「質問[7] 所属学科の学内実習、学外実習などを実施し、学生が体験的に学ぶ」、「質問[19]出席することが重視される」において、「ひんぱんにした」と答えた学生が多い。

##### 2) 大学の授業や授業以外の学習状況

「質問[24] 提出期限までに授業課題を完成した」において、「ひんぱんにした」と答えた学生が多く、これは遠隔講義等の影響が大きいと考えられる。

### 3) 活動に費やしている1週間あたりの時間数

「質問[35] 講義や実習に出席する」が20時間以上と答えた学生が83% (129名) と最も多かった。

「質問[40] 部活動や同好会に参加する」において「全然ない」の割合が96% (149名) と多かった。本学生は部活動や同好会に参加していない者が多いが、遠隔講義で登校していないため、参加する機会がなかったことも考えられる。

「質問[42] 読書をする (マンガ・雑誌を除く)」では、「全然ない」の割合が72% (112名) と読書をしていない学生が多いことが分かった。

### 4) 入学時点と比べた能力や知識の変化

入学時点と比べた能力や知識の変化で「増えた」および「大きく増えた」が多かった項目は、「質問[44] 一般的な教養」74% (114名)、「質問[46] 専門分野や学科の知識」86% (133名)、「質問[51] 他の人と協力して物事を遂行する能力」62% (96名) であった。これらの項目は、毎年、評価が高く、本学の教育の特徴といえると考えられる。

一方、「質問[59] 数理的な能力」では、16% (25名) と最も低かった。

## Ⅲ. 相互実習・学外実習やボランティア活動について

「質問[67] 学内での実習に意欲的に取り組んでいるか」において、「意欲的」および「どちらかといえば意欲的」と答えた者は69% (107名) であった。

## Ⅳ. 大学生活に対する考えや満足度について

### 1) 大学生活への円滑な移行

大学生活への円滑な移行は、「いくらかうまくいった」および「とてもうまくいった」と答えた者は50%以上であった。

### 2) 学生生活の充実

「充実している」および「まあまあ充実している」と答えた者は78% (120名) であった。

### 3) 教育内容の満足度

「質問[76] 専門教育あるいは所属学科の授業」、「質問[82] 将来の仕事と授業内容との結びつき」は「満足」および「とても満足」と答えた者は、52% (81名) と61% (94名) であった。

### 4) 設備や学生支援制度の満足度

すべての項目で「どちらでもない」と答えた学生が多い (53~74%)。「とても不満」および「不満」が最も高かったのが「質問[94] インターネットの使いやすさ」21% (33名) で、概ね設備や学生支援制度に関しては、満足度は高いというわけではないが、不満もないようである。

## Ⅴ. 卒業後の進路について

「質問[99] 卒業後の進路予定」では、「就職する」が52% (80名)、次いで「専攻科に進学する」が

26% (41名) であった。

「質問[100] 将来の見通しと現在の状態」では、将来の見通しを持っていると答えた学生は92%(142名)だったが、実際に将来にむけて「何をすべきかをわかっているし、実行もしている」のは20%(31名)であった。

### 1) 卒業後の進路のために、大学在学中に経験したいこと

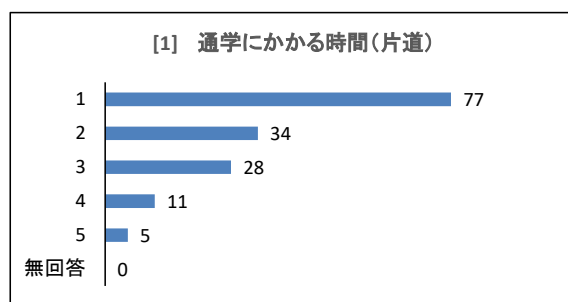
すべての項目で、「どちらかといえばそう思う」および「そう思う」と答えた者は80~98%以上であった(無回答31名を除く)。

## 3. 各項目の調査結果

### I. 現在の学生生活について

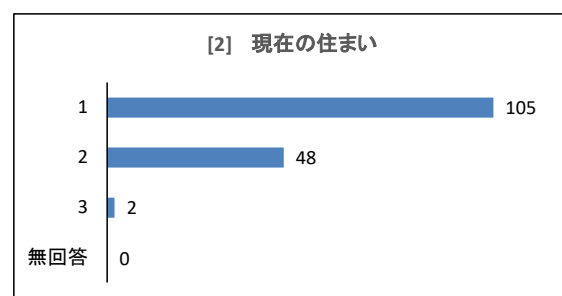
#### [1] 通学にかかる時間(片道)

項目		人数	%
1	30分未満	77	49.7
2	30分以上~1時間未満	34	21.9
3	1時間以上~1時間30分未満	28	18.1
4	1時間30分以上~2時間未満	11	7.1
5	2時間以上	5	3.2
無回答		0	0.0



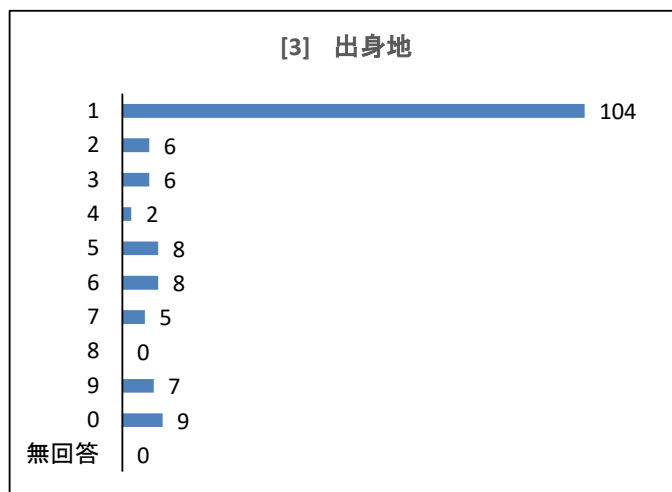
#### [2] 現在の住まい

項目		人数	%
1	家族 または 親戚と暮らしている	105	67.7
2	アパート・学生マンションでひとり暮らし	48	31.0
3	大学寮や合宿所	2	1.3
無回答		0	—



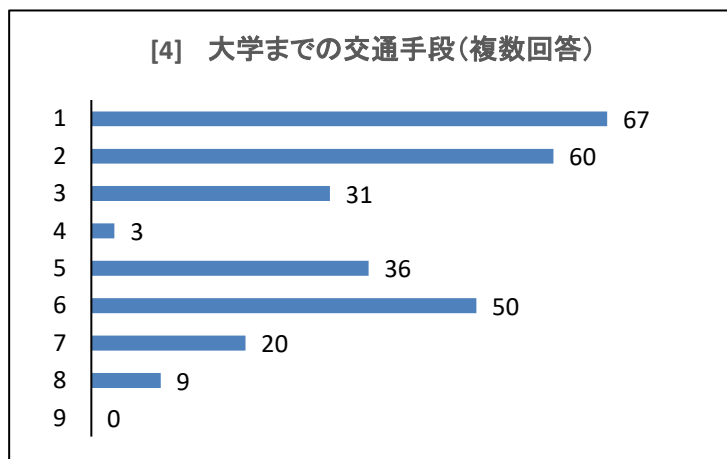
#### [3] 出身地

項目	人数	%	
1	福岡県	104	67.1
2	佐賀県	6	3.9
3	長崎県	6	3.9
4	熊本県	2	1.3
5	宮崎県	8	5.2
6	鹿児島県	8	5.2
7	大分県	5	3.2
8	沖縄県	0	0.0
9	山口県	7	4.5
0	その他	9	5.8



無回答	0	—
-----	---	---

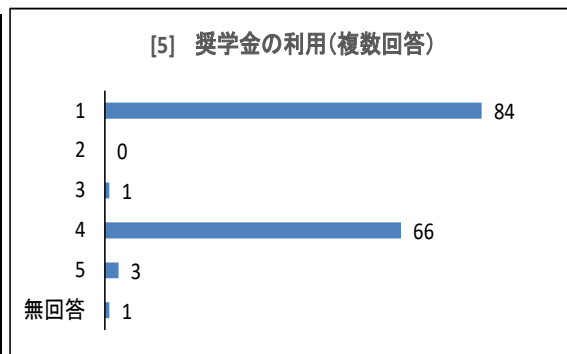
[4] 大学までの交通手段（複数回答）



項目		人数	%
1	徒歩	67	43.2
2	自転車	60	38.7
3	自動車	31	20.0
4	バイク	3	1.9
5	鉄道(JR・西鉄)	36	23.2
6	地下鉄	50	32.3
7	バス	20	12.9
8	送迎	9	5.8
9	その他	0	0.0

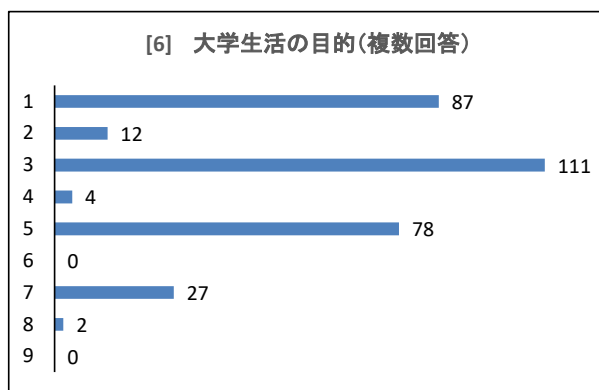
[5] 奨学金の利用（複数回答）

項目		人数	%
1	日本学生支援機構の奨学金	84	54.2
2	日本介護福祉士修学資金	0	0.0
3	以前受けていたが今は受けていない	1	0.6
4	受けていない	66	42.6
5	その他	3	1.9
無回答		1	0.6



項目		人数	%
1	日本学生支援機構の奨学金	84	54.2
2	日本介護福祉士修学資金	0	0.0
3	以前受けていたが今は受けていない	1	0.6
4	受けていない	66	42.6
5	その他	3	1.9
無回答		1	0.6

[6] 大学生生活の目的（複数回答）

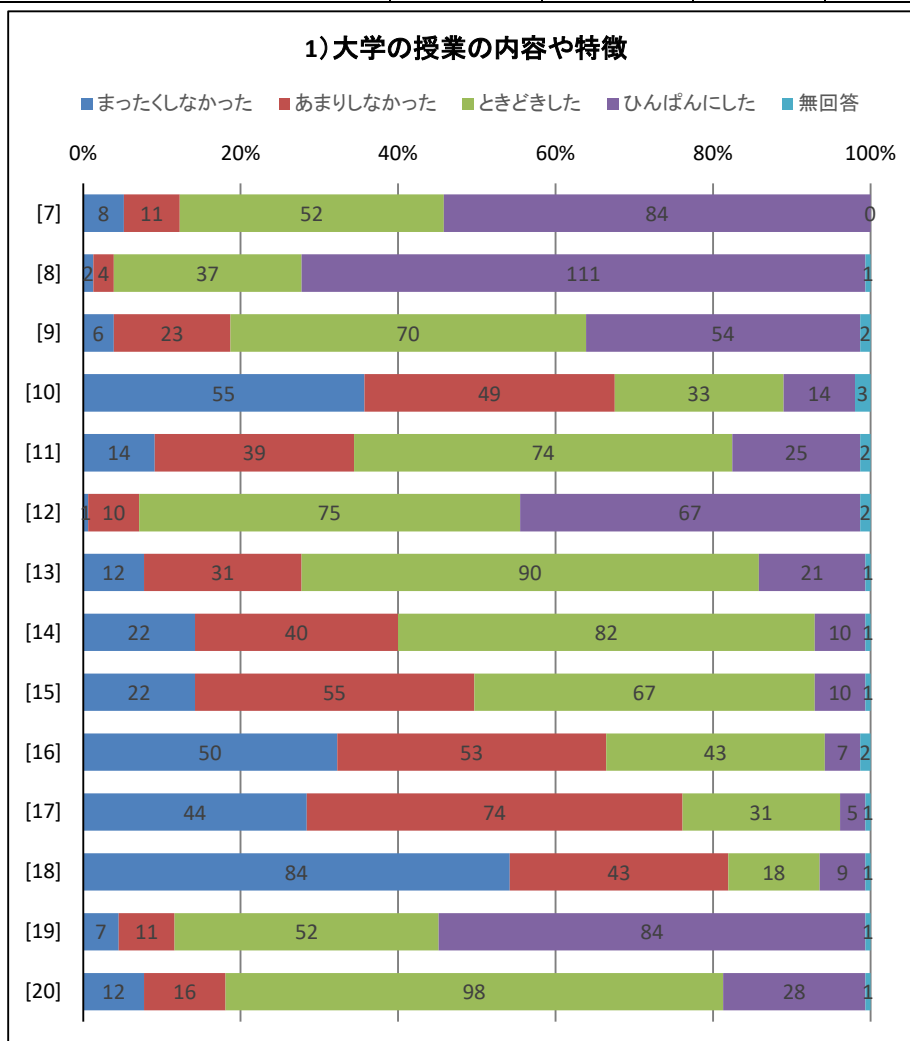


	項目	人数	%
1	専門的な研究や知識を身につける	87	56.1
2	豊かな教養を身につける	12	7.7
3	学歴や資格を得る	111	71.6
4	クラブやサークルを楽しむ	4	2.6
5	希望する職業に就く	78	50.3
6	学生生活を楽しむ	0	0.0
7	友達とのかかわりを楽しむ	27	17.4
8	特に目的はない	2	1.3
9	その他	0	0.0

## II. 大学の学習状況について

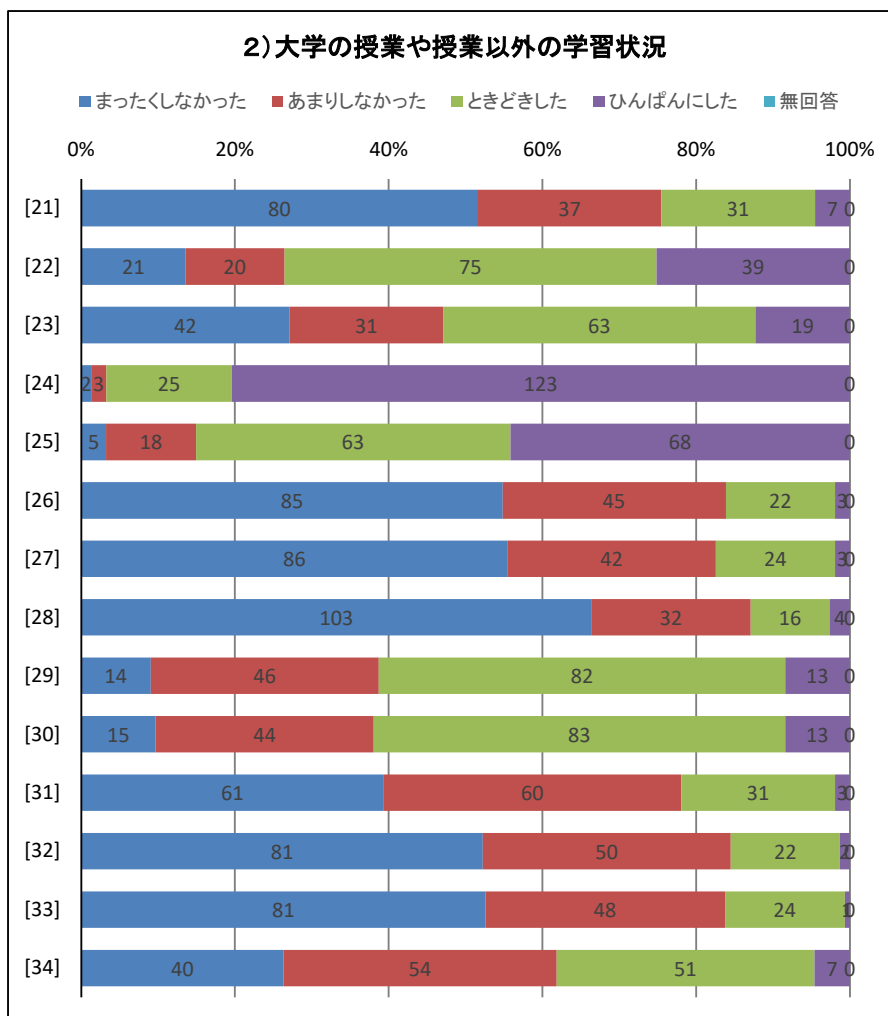
### 1) 大学の授業の内容や特徴

項目	人数				
	まったくしな かった	あまりしな かった	ときどき した	ひんばん にした	無回答
[7] 所属学科の学内実習、学外実習などを実施し、学生が体験的に学ぶ	8	11	52	84	0
[8] 仕事に役立つ知識やスキルを学ぶ	2	4	37	111	1
[9] 授業内容と社会や日常生活のかかわりについて、教員が説明する	6	23	70	54	2
[10] 授業の一環でボランティア活動をする	55	49	33	14	3
[11] 学生自身が文献や資料を調べる	14	39	74	25	2
[12] 定期的に小テストやレポートが課される	1	10	75	67	2
[13] 教員が提出物に添削やコメントをつけて返却する	12	31	90	21	1
[14] 学生が自分の考えや研究を発表する	22	40	82	10	1
[15] 授業中に学生同士が論議をする	22	55	67	10	1
[16] 授業で検討するテーマを学生が設定する	50	53	43	7	2
[17] 授業の進め方に学生の意見が取り入れられる	44	74	31	5	1
[18] 取りたい授業を履修登録できなかった	84	43	18	9	1
[19] 出席することが重視される	7	11	52	84	1
[20] TA・SA(上級生や専攻科生)から補助・指導を受ける	12	16	98	28	1



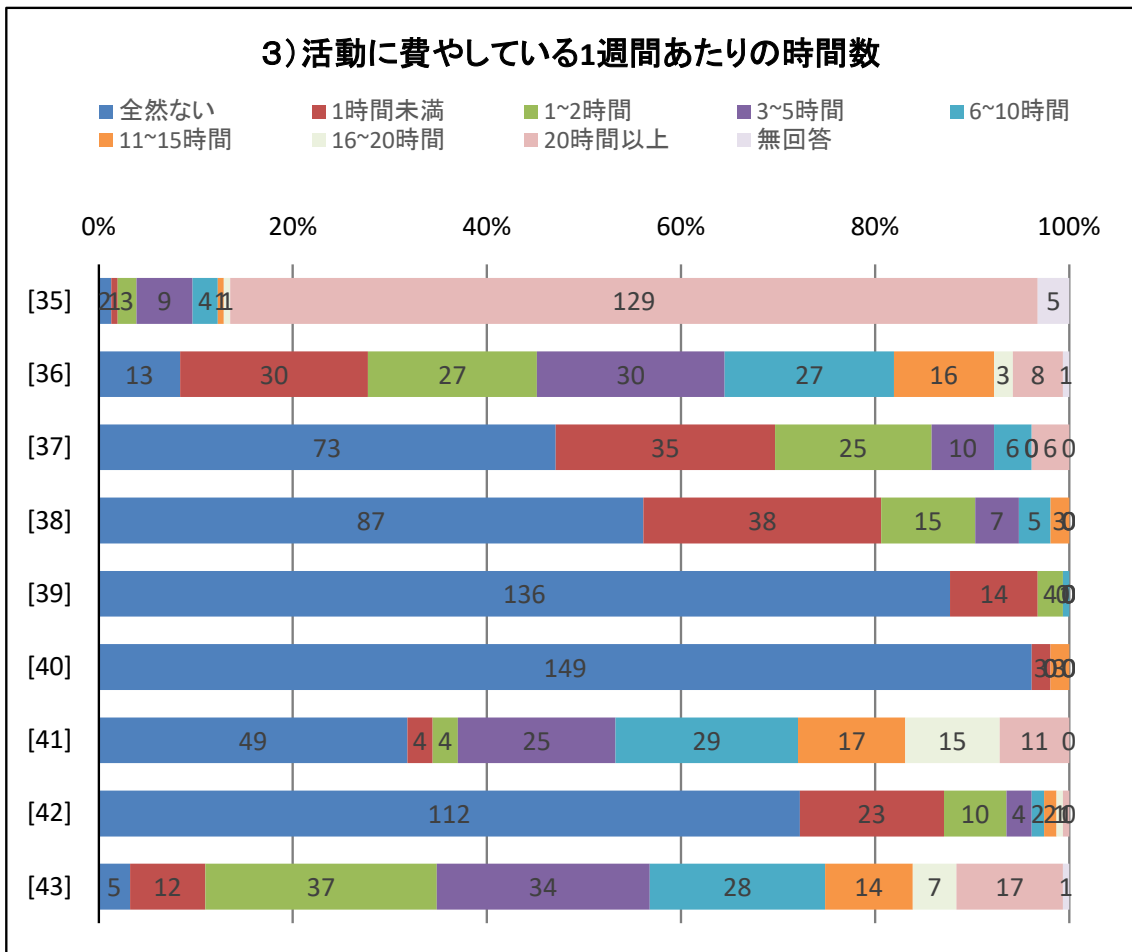
2) 大学の授業や授業以外の学習状況

項目	人数				
	まったくしな かった	あまりしな かった	ときどき した	ひんばん にした	無回答
[21] 授業課題のために図書館の資料を利用した	80	37	31	7	0
[22] 授業課題のために Web 上の情報を利用した	21	20	75	39	0
[23] インターネットやイントラネットを使って授業課題を受けたり、提出したりした	42	31	63	19	0
[24] 提出期限までに授業課題を完成した	2	3	25	123	0
[25] 授業時間外に、他の学生と一緒に勉強したり、授業内容について話したりした	5	18	63	68	0
[26] 授業中、教員の考え方や意見に異議を唱えた	85	45	22	3	0
[27] 授業を欠席した	86	42	24	3	0
[28] 授業に遅刻した	103	32	16	4	0
[29] 授業をつまらなく感じた	14	46	82	13	0
[30] 授業中に居眠りをした	15	44	83	13	0
[31] 教職員に学習に関する相談をしたり、学内の学習支援室を利用したりした(オフィスアワーも含める)	61	60	31	3	0
[32] 単位とは関係のない教員あるいは学生による自主的な勉強会に参加した	81	50	22	2	0
[33] 大学の教職員に将来のキャリアの相談をした(卒業後の進路や職業選択など)	81	48	24	1	0
[34] 教員に親近感を感じた	40	54	51	7	0



3) 活動に費やしている1週間あたりの時間数

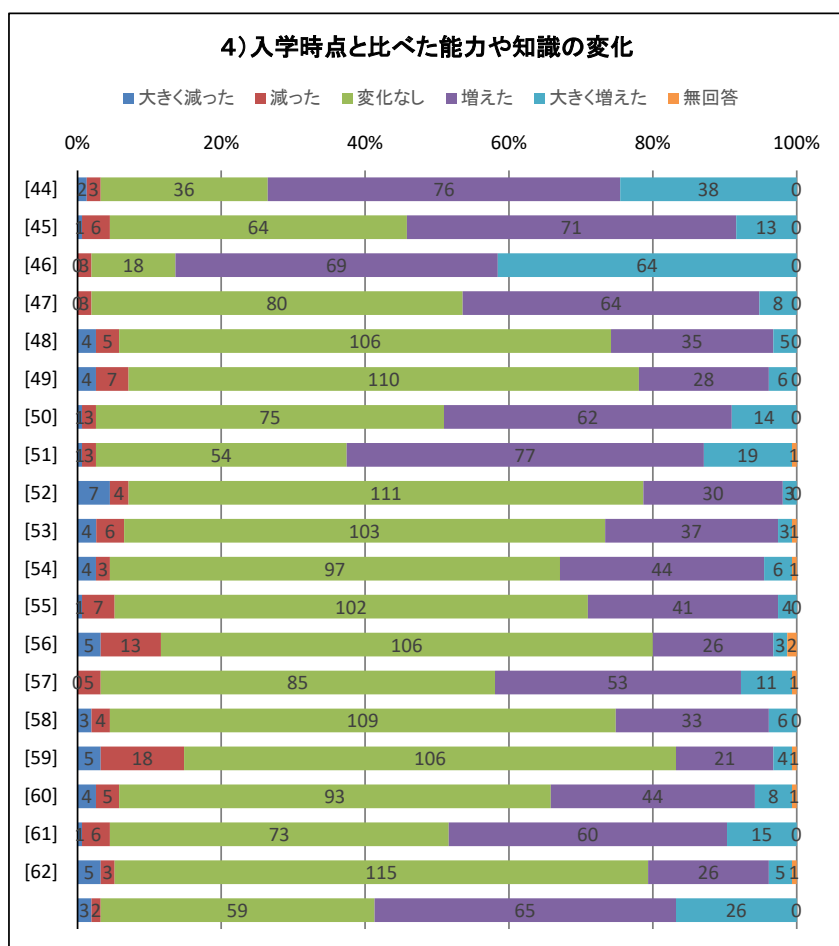
項目	人数								
	全然ない	1時間未満	1~2時間	3~5時間	6~10時間	11~15時間	16~20時間	20時間以上	無回答
[35] 講義や実習に出席する	2	1	3	9	4	1	1	129	5
[36] 授業時間以外に授業課題や準備学習、復習をする	13	30	27	30	27	16	3	8	1
[37] アクティブ・ラーニング科目(学内の演習や学外での実習など)に関する授業外学修時間	73	35	25	10	6	0	0	6	0
[38] 授業時間以外に、授業に関連しない勉強をする	87	38	15	7	5	3	0	0	0
[39] オフィスアワーなど、授業時間以外に教員と面談する	136	14	4	0	1	0	0	0	0
[40] 部活動や同好会に参加する	149	3	0	0	0	3	0	0	0
[41] 大学外でアルバイトや仕事をする	49	4	4	25	29	17	15	11	0
[42] 読書をする(マンガ・雑誌を除く)	112	23	10	4	2	2	1	1	0
[43] 個人的な趣味活動をする(テレビやゲーム、映画鑑賞など)	5	12	37	34	28	14	7	17	1





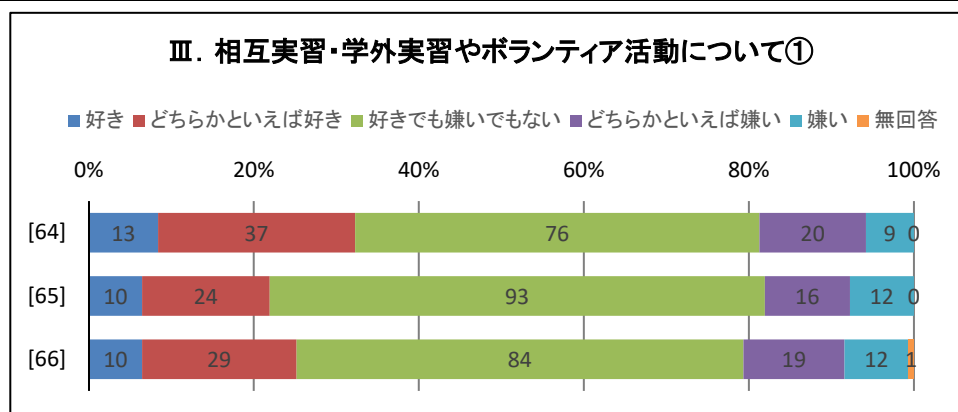
4) 入学時点と比べた能力や知識の変化

項目	人数					
	大きく減った	減った	変化なし	増えた	大きく増えた	無回答
[44] 一般的な教養(専門分野の礎となる知識や方法論が身についた)	2	3	36	76	38	0
[45] 分析力や問題解決能力	1	6	64	71	13	0
[46] 専門分野や学科の知識	0	3	18	69	64	0
[47] 批判的に考える能力(問題点を明確にできる能力、情報の信頼性を評価できる能力等)	0	3	80	64	8	0
[48] 異文化の人々に関する知識	4	5	106	35	5	0
[49] リーダーシップの能力	4	7	110	28	6	0
[50] 人間関係を構築する能力	1	3	75	62	14	0
[51] 他の人と協力して物事を遂行する能力	1	3	54	77	19	1
[52] 異文化の人々と協力する能力(異文化を尊重して協力し合える能力)	7	4	111	30	3	0
[53] 地域社会が直面する問題を理解する能力(地域の活性や過疎化など)	4	6	103	37	3	1
[54] 国民が直面する問題を理解する能力(少子高齢化、社会保障など)	4	3	97	44	6	1
[55] 文章表現の能力	1	7	102	41	4	0
[56] 外国語の運用能力	5	13	106	26	3	2
[57] コミュニケーションの能力	0	5	85	53	11	1
[58] プレゼンテーションの能力	3	4	109	33	6	0
[59] 数理的な能力	5	18	106	21	4	1
[60] コンピュータの操作能力	4	5	93	44	8	1
[61] 時間を効果的に利用する能力	1	6	73	60	15	0
[62] グローバル(世界的)な問題の理解(環境問題、食糧問題など)	5	3	115	26	5	1
[63] 就職に向けての知識・技術力	3	2	59	65	26	0

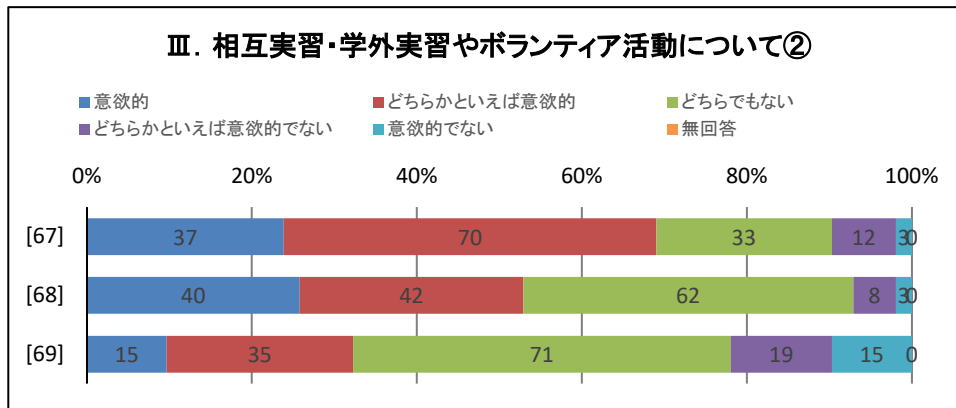


### Ⅲ. 相互実習・学外実習やボランティア活動について

項目	人数					
	好き	どちらかといえば好き	好きでも嫌いでもない	どちらかといえば嫌い	嫌い	無回答
[64] 学内の実習が好きか	13	37	76	20	9	0
[65] 学外(臨床・臨地実習・介護実習等)での実習が好きか	10	24	93	16	12	0
[66] ボランティア活動が好きか	10	29	84	19	12	1



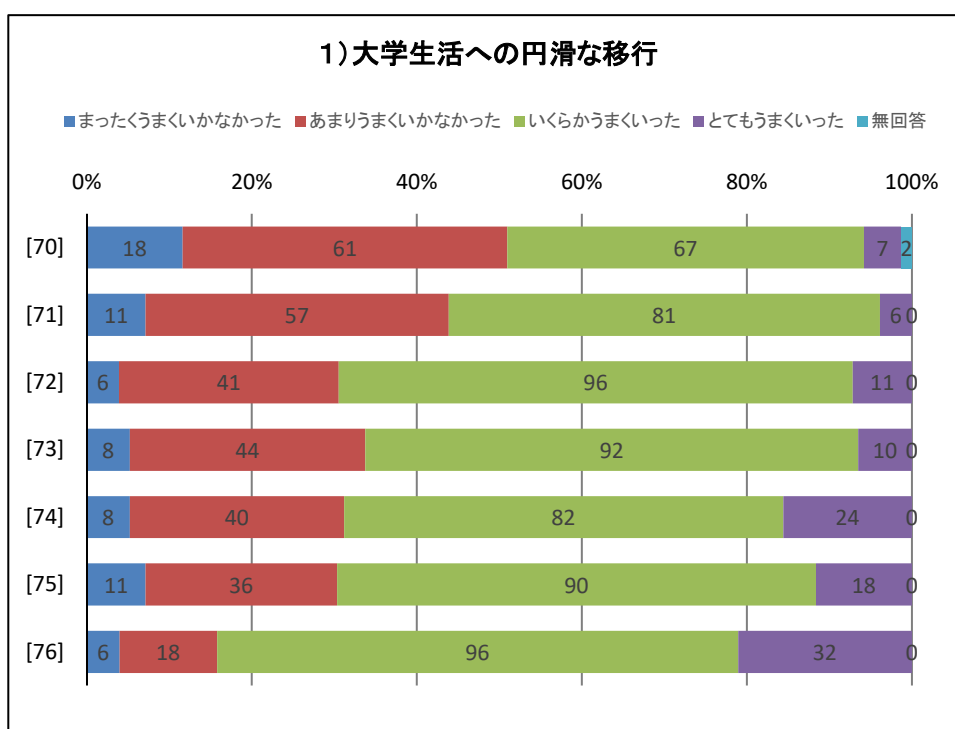
項目		人数					
		意欲的	どちらかとい えば意欲的	どちらでも ない	どちらかとい えば意欲 的でない	意欲的でない	無回答
[67]	学内での実習に意欲的に取り組んでいるか	37	70	33	12	3	0
[68]	学外での実習(臨床・臨地実習・介護実習等)に意欲的に取り組んでいるか	40	42	62	8	3	0
[69]	ボランティア活動に意欲的に取り組んでいるか	15	35	71	19	15	0



#### IV. 大学生活に対する考えや満足度について

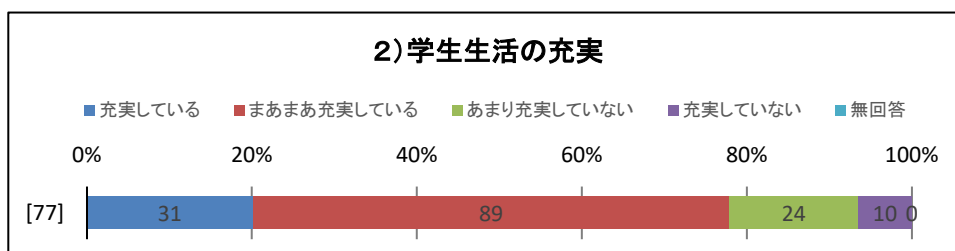
##### 1) 大学生活への円滑な移行

項目		人数				
		まったくうまくいかなかった	あまりうまくいかなかった	いくらかうまくいった	とてもうまくいった	無回答
[70]	大学の学生向けサービスを上手に利用する	18	61	67	7	2
[71]	大学教員の学問的な期待を理解する	11	57	81	6	0
[72]	効果的に学習する技能を修得する	6	41	96	11	0
[73]	大学が求める水準に応じて学習する	8	44	92	10	0
[74]	時間を効果的に使う	8	40	82	24	0
[75]	大学教員と顔見知りになる	11	36	90	18	0
[76]	他の学生との友情を深める	6	18	96	32	0



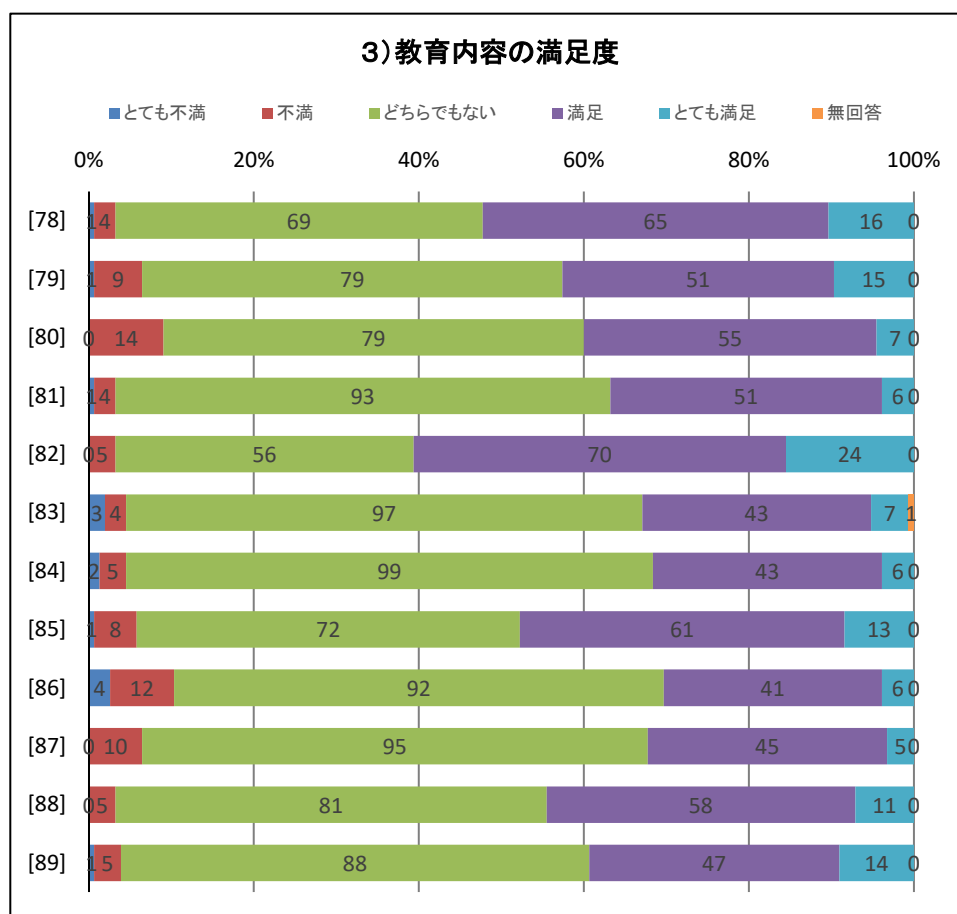
##### 2) 学生生活の充実

項目		人数				
		充実している	まあまあ充実している	あまり充実していない	充実していない	無回答
[77]	学生生活の充実している	31	89	24	10	0



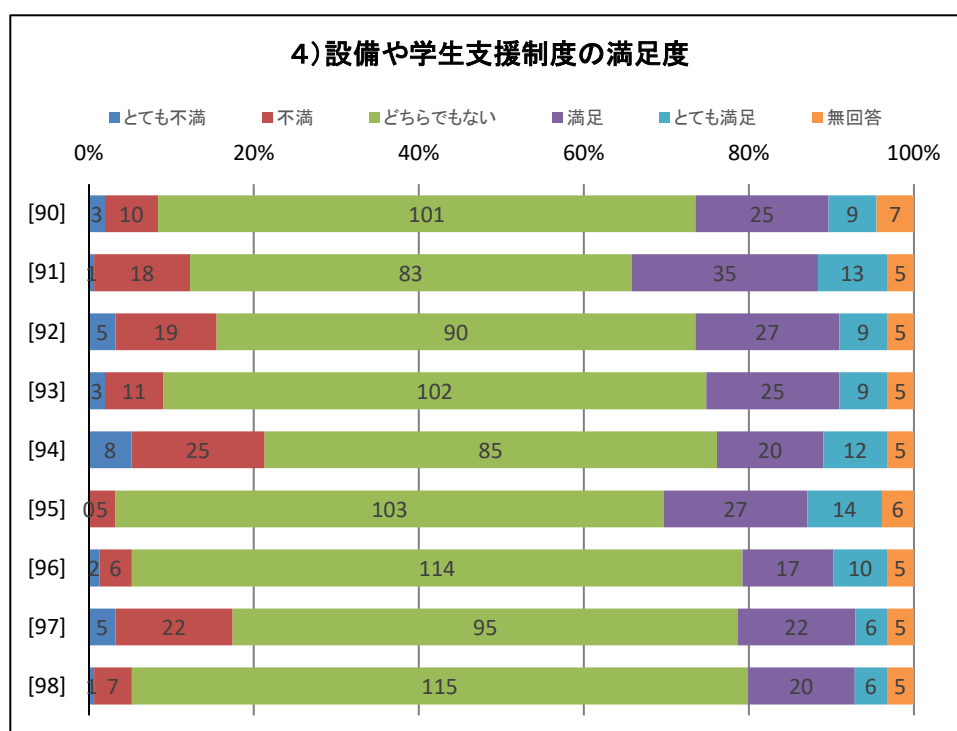
### 3) 教育内容の満足度

項目	人数					
	とても不 満	不 満	ど ち ら で も な い	満 足	と と も 満 足	無 回 答
[78] 専門教育あるいは所属学科の授業	1	4	69	65	16	0
[79] 所属学科の学内実習や学外実習	1	9	79	51	15	0
[80] 授業の全体的な質	0	14	79	55	7	0
[81] 日常生活と授業内容との関連	1	4	93	51	6	0
[82] 将来の仕事と授業内容との結びつき	0	5	56	70	24	0
[83] 教員と話をする機会	3	4	97	43	7	1
[84] 個別の学習指導や学習支援	2	5	99	43	6	0
[85] 他の学生と話をする機会	1	8	72	61	13	0
[86] 大学のなかでの学生同士の一体感	4	12	92	41	6	0
[87] 多様な考え方を認め合う雰囲気	0	10	95	45	5	0
[88] 大学での経験全般について	0	5	81	58	11	0
[89] 1つの授業を履修する学生数	1	5	88	47	14	0



#### 4) 設備や学生支援制度の満足度

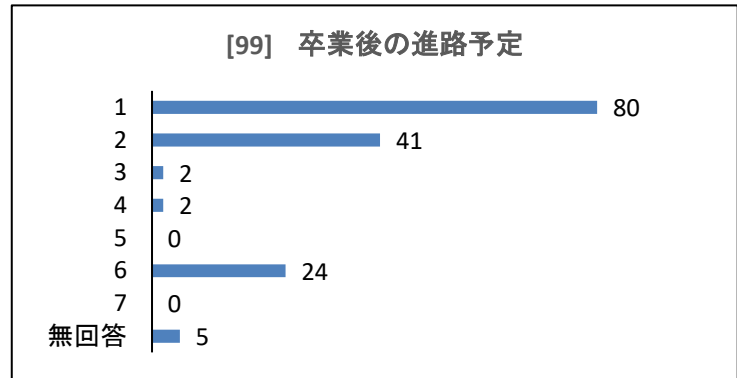
項目	人数					
	とても不満	不満	どちらでもない	満足	とても満足	無回答
[90] 図書館の設備(蔵書やレファレンスサービス:図書館員による情報提供・資料検索他)	3	10	101	25	9	7
[91] 実習室の設備や器具	1	18	83	35	13	5
[92] コンピュータの施設や設備	5	19	90	27	9	5
[93] コンピュータの訓練や援助	3	11	102	25	9	5
[94] インターネットの使いやすさ	8	25	85	20	12	5
[95] 奨学金など学費援助の制度	0	5	103	27	14	6
[96] 健康・保健サービス(心身の健康に関わる問題についての診療や相談:歯科を含む)	2	6	114	17	10	5
[97] レクリエーション施設(体育館の設備など)	5	22	95	22	6	5
[98] キャリアカウンセリング(就職や進学に関する相談)	1	7	115	20	6	5



V. 卒業後の進路について

[99] 卒業後の進路予定

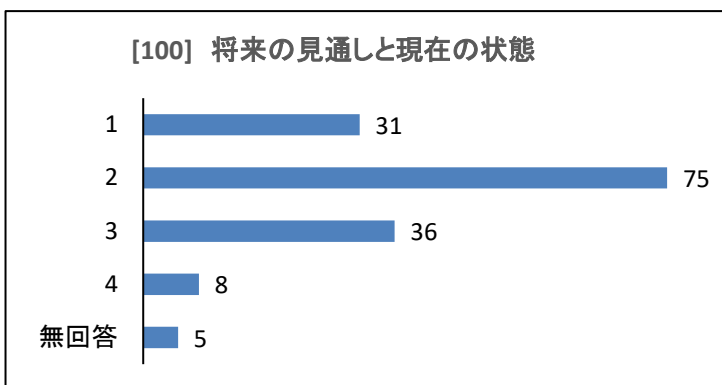
項目	人数	%
1 就職する	80	51.6
2 専攻科に進学する	41	26.5
3 留学する	2	1.3
4 他大学に(編)入学する	2	1.3
5 専門学校に進学する	0	0.0
6 まだわからない	24	15.5
7 その他	0	0.0
無回答	5	3.2



[100] 将来の見通しと現在の状態

項目	人数
1 ①将来の見通しを持っている + ②何をすべきかをわかっているし、実行もしている	31
2 ①将来の見通しを持っている + ②何をすべきかをわかっているが、実行は出来ていない	75
3 ①将来の見通しを持っている + ②何をすべきかをわからない	36
4 ①将来の見通しを持っていない	8
無回答	5

項目	人数	%
1 ①将来の見通しを持っている + ②何をすべきかをわかっているし、実行もしている	31	20.0
2 ①将来の見通しを持っている + ②何をすべきかをわかっているが、実行は出来ていない	75	48.4
3 ①将来の見通しを持っている + ②何をすべきかをわからない	36	23.2
4 ①将来の見通しを持っていない	8	5.2
無回答	5	3.2



1) 卒業後の進路のために、大学在学中に経験したいこと

項目	人数				
	そう思わない	どちらかといえば思わない	どちらかといえば思う	そう思う	無回答
[101] 専門分野の知識・技術をしっかり身につけ、国家試験に合格出来る教育を受ける	1	1	37	85	31
[102] 専門分野だけでなく、幅広い知識を身につけ視野を広げる	1	1	57	65	31
[103] 職業意識の形成につながる教育を受ける	0	1	51	72	31
[104] 学外実習施設での体験実習等を踏まえた上で、専門知識を学ぶ	1	2	47	74	31
[105] 教員が設定した特定の課題に対して、チームで取り組むプロジェクト型の授業を受ける	2	8	76	38	31
[106] 自分で課題を見つけ、自分で解決していくような訓練を受ける	1	10	72	41	31
[107] ディベート(討論)やプレゼンテーションの訓練を受ける	4	15	70	35	31
[108] 実践的で専門性のある資格を取得するためのプログラムを受ける	1	4	67	52	31
[109] レポートや論文指導により、文書作成能力を高める	4	11	70	39	31
[110] 卒業後の進路について、教職員に対して個別に相談する	3	11	66	43	32
[111] 卒業後の進路について、本学の卒業生や先輩と話をする	3	9	64	48	31
[112] 本学の教職員以外の人と話をする	6	20	58	39	32

